

2020年5月12日

各位

会社名 株式会社西武ホールディングス  
代表者 取締役社長 後藤高志  
(コード番号：9024 東証一部)  
問合せ先 広報部長 川上清人  
(TEL.03-6709-3112)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年2月6日に公表した2020年3月期の通期連結業績予想につき、2020年4月30日「[特別損失\(減損損失\)の計上および通期連結業績予想に関するお知らせ](#)」において、その下落の可能性に関して公表いたしました。本日下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	営業収益	営業利益	償却前 営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回公表数値(A) (2020年2月6日発表)	億円 5,738	億円 675	億円 1,257	億円 592	億円 400	円 銭 133.69
今回修正予想(B)	5,545	568	1,145	487	46	15.18
増減額(B-A)	▲192	▲106	▲111	▲104	▲353	—
増減率(%)	▲3.3%	▲15.8%	▲8.9%	▲17.6%	▲88.3%	—
(参考)前期実績 (2019年3月期)	5,659	733	1,273	654	454	145.21

#### 2. 修正の理由

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ホテル業で宿泊や宴会、食堂の利用が減少したことに加え、外出やイベントの自粛による行楽需要の低下やレジャー施設のクローズ、イベントの中止など、2020年2月6日時点の想定を超える影響を受けたこと、及び当社の連結子会社が保有する一部の固定資産について特別損失(減損損失)を計上する見込みとなったこと(2020年4月30日公表済み)などによるものです。

3. 各セグメントにおける営業収益及び営業利益、償却前営業利益の見通し

(単位：億円)

セグメントの名称	営業収益			営業利益			償却前営業利益		
	当連結 会計年度 (今回予想)	2/6時点 公表数値比	前期比	当連結 会計年度 (今回予想)	2/6時点 公表数値比	前期比	当連結 会計年度 (今回予想)	2/6時点 公表数値比	前期比
都市交通・沿線事業	1,611	▲35	▲19	233	▲18	▲37	454	▲20	▲32
ホテル・レジャー事業	2,091	▲137	▲106	80	▲94	▲116	254	▲91	▲106
不動産事業	663	▲1	▲33	181	+2	▲19	299	+2	▲4
建設事業	1,117	▲19	+20	56	+3	▲2	60	+2	▲2
ハワイ事業	224	+0	+33	5	+0	+18	32	+0	+20
その他	415	▲12	▲3	6	+1	▲6	40	+1	▲3
合計	6,124	▲205	▲107	563	▲105	▲163	1,142	▲104	▲128
調整額	▲578	+13	▲5	5	▲0	▲1	3	▲6	+0
連結数値	5,545	▲192	▲113	568	▲106	▲165	1,145	▲111	▲127

- (注) 1 調整額については、主に連結会社間取引消去等であります。  
 2 償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

都市交通・沿線事業の営業収益は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、鉄道運輸収入、バス収入とともに外出自粛の影響を受けたことや、西武園ゆうえんち、としまえんが2月29日以降、感染予防のために一部の期間を除き営業休止としたこと、横浜アリーナで見込んでいたイベントが中止となったことなどにより、1,611億円と2月6日時点公表数値を35億円下回る見通し、営業利益は、コスト削減に努めたものの、営業収益が想定を下回ることなどにより233億円と2月6日時点公表数値を18億円下回る見通し、償却前営業利益は454億円と2月6日時点公表数値を20億円下回る見通しであります。

ホテル・レジャー事業の営業収益は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ホテル業で宿泊や宴会、食堂の利用が減少したこと、横浜・八景島シーパラダイスなど一部のレジャー施設が2月29日以降、感染予防のために一部の期間を除き営業休止としたことなどにより、2,091億円と2月6日時点公表数値を137億円下回る見通し、営業利益は、コスト削減に努めたものの、営業収益が想定を下回ることなどにより80億円と2月6日時点公表数値を94億円下回る見通し、償却前営業利益は254億円と2月6日時点公表数値を91億円下回る見通しであります。

不動産事業の営業収益は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、軽井沢・プリンスショッピングプラザなど一部の商業施設が3月2日以降営業時間を短縮したことに加え、駅ナカコンビニ「トモニー」が外出自粛の影響を受けたことなどにより、663億円と2月6日時点公表数値を1億円下回る見通しであります。営業利益は、コスト削減に努めたことなどにより、181億円と2月6日時点公表数値を2億円上回る見通し、償却前営業利益は299億円と2月6日時点公表数値を2億円上回る見通しであります。

建設事業の営業収益は、土木工事や建築工事の進捗が想定を下回ったことなどにより、1,117億円と2月6日時点公表数値を19億円下回る見通しであります。営業利益は、土木工事を中心とする利益率向上などにより、56億円と2月6日時点公表数値を3億円上回る見通し、償却前営業利益は60億円と2月6日時点公表数値を2億円上回る見通しであります。

ハワイ事業については、2月6日時点公表数値通りであります。

その他、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、西武ライオンズにおいてオープン戦を無観客で開催したことや開幕が延期となったこと、伊豆箱根事業や近江事業において外出自粛の影響を受けたことなどにより、営業収益は415億円と2月6日時点公表数値を12億円下回る見通しであります。営業利益は、西武ライオンズにおいて開幕に係る経費が発生しなかったことなどにより6億円と2月6日時点公表数値を1億円上回る見通し、償却前営業利益は40億円と2月6日時点公表数値を1億円上回る見通しであります。

#### 4. その他

##### (1) 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響額（2020年1月～3月累計）

セグメントの名称	営業収益への影響額（概算）	営業利益への影響額（概算）
都市交通・沿線事業	▲ 36 億円	▲ 30 億円
ホテル・レジャー事業	▲152 億円	▲115 億円
不動産事業	▲ 3 億円	▲ 2 億円
その他	▲ 15 億円	▲ 6 億円
合計	▲206 億円	▲153 億円

##### (2) 4月における主な営業状況（速報）

項目		営業状況（速報値） 前年同月比で記載
鉄道業	主な駅の利用客数の動向	池袋駅：▲62%程度 高田馬場駅：▲61%程度
ホテル業	RevPAR	▲95%程度（シティ▲95%程度、リゾート▲94%程度）
	平均販売室料	▲26%程度（シティ▲26%程度、リゾート▲25%程度）
	客室稼働率	▲73pt 程度（シティ▲86pt 程度、リゾート▲46pt 程度）
	宿泊客数	▲94%程度（邦人客数▲90%程度、外国人客数▲100%程度）

（注）ホテル業の営業指標には、臨時休業中の施設・客室を含んでおります。

※新型コロナウイルス感染症に対する当社グループの対応につきましては、下記をご参照ください。

2020年4月22日公表

[西武グループにおける新型コロナウイルス感染症 感染予防・感染拡大防止対策 および営業内容等の一部変更について](#)

（注）上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります

以 上